

〔I〕 次の文の(1)～(15)に入れるのに最も適当な語句を下記の〔語群〕から
選び、その記号をマークしなさい。

地球の長い歴史の過程で、地表は複雑な起伏を示すようになった。このような地形の大わくをつくる(1)は地球が生れてから約4回あったとされる。最も古い(1)によって、先(2)時代に形成された山地は、今ではかたい岩石からなる、低平で、起伏の少ない陸塊となっている。これを(3)と呼ぶが、なかでもバルト海沿岸やカナダの(4)地方は典型的な(5)の地形を示している。古い地塊がその後ほとんど変動をうけず、ほぼ水平な地層を保っている大規模な平地になっている場合には(6)と呼ばれ、その代表的な例はソ連の(7)平原や北アメリカの(8)などである。またアフリカ高原や南アメリカの(9)高原には(10)と呼ばれる、平坦面の周囲が急崖でとりかこまれた台地地形が見られるが、これらの高原はウェゲナーの(11)説によると、アラビア半島やデカン高原などとともに、もとは(12)大陸と呼ばれていたものが分離、移動したものとされる。

古生代の2回の(1)により、(3)を取りまくように形成されたのが、(13)であるが、これもソ連のウラル山脈や北アメリカの(14)山脈のように今ではかなり低くなっているものが多い。しかし(13)に属する山脈のなかにも、その後の隆起運動や断層運動によって、今でも海拔4,000 m以上の高度を保っているものもある。チベット高原北縁の(15)山脈やその北方のテンシャ
ン山脈はその例である。

〔語 群〕

- | | | | |
|---------|----------|-----------|----------------|
| (ア) 白亜紀 | (イ) ブラジル | (ウ) 新期造山帯 | (エ) アトランティス |
| (オ) 卓状地 | (カ) ロッキー | (キ) ゴンドワナ | (ク) 東ヨーロッパ |
| (ケ) 橋状地 | (コ) アルタイ | (ク) アパラチア | (シ) ローレンシア |
| (ス) 準平原 | (セ) 構造平野 | (ソ) カンブリア | (タ) 古期造山帯 |
| (チ) 大平原 | (ツ) クソルン | (テ) シベリア | (ト) 安定陸塊(安定陸地) |
| (ナ) ケスタ | (ニ) 洪積台地 | (ヌ) 造山運動 | (ネ) 大陸移動(大陸漂移) |

法学部(第1・2部)・地方〔文科系全学部(第1・2部)〕 1987 平野

〔I〕 平野に関連した次の(A), (B)の文の(1)~(15)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 世界の大規模な平野には、(1)や(2)の性質をもつものが多い。
(1)は、長期にわたる(3)作用の結果生じたもので、表面は緩やかに波うち、所々にモナドノックと呼ばれる高まりをもつ。(1)の例として、(4)を挙げることができる。
(2)は、(1)と同様、地殻が安定した地域に分布する。古い地質時代の地層がほぼ水平に重なっており、平坦面ないし緩やかに波うった地表面を呈する。極めて緩やかに傾斜する硬岩層と軟岩層とが交互に重なっている場合、(5)地形が認められる。その例として(6)を挙げることができる。
- (B) 日本の平野のほとんどは沖積平野であるが、これは河川の(7)作用によって形成されたものである。大きな沖積平野が形成されるためには、地盤が広い範囲で(8)していることが必要である。山地を離れた河川は山麓に粗大な礫を堆積して、(9)を形成する。この下流には現流路だけではなく、旧流路に沿って砂質の(10)が分布する。この(10)の背後に形成された泥質の浅い盆状の湿地は(11)という。河口に近づくと、泥質堆積物からなる低湿な(12)に移行する。このように、沖積平野はおおまかに三地帯に分けることができる。それぞれの地帯では河川の流路の平面形態に違いがあり、一般に、(9)上では(13)、(10)および(11)帯では(14)、(12)では(15)を呈する。

〔語 群〕

- | | | |
|--------|----------|--------------|
| (ア) 堆積 | (イ) 卓状地 | (ウ) 構造平野 |
| (カ) 隆起 | (キ) ケスタ | (ク) 自然堤防 |
| (ク) 分流 | (ケ) 網状流 | (コ) パリ盆地 |
| (ク) 蛇行 | (コ) 準平原 | (シ) バルト盾状地 |
| (ス) 侵食 | (セ) 三角州 | (ソ) アフリカ卓状地 |
| (タ) 沈降 | (チ) 扇状地 | (ツ) バダノベネタ平野 |
| (テ) 地塁 | (ト) 後背湿地 | |

2009 低地地形

〔I〕 低地の地形とその土地利用に関する次の文を読んで、問1～問3に答えなさい。

大地が大気にさらされると、地表およびその付近の岩石圏は熱や水によって、物理的・化学的変化を受ける。これを風化と呼ぶ。これと合わせて、流水、氷河、波浪、風などの力で^{はく}削剝されることを(1)という。流水の作用は、地形が険しい(2)や降水量が多い地域ほど著しい。この(1)による土砂が、運搬され堆積して形成された平野を(3)平野と呼ぶ。これは上流から下流に順に(4)、^{はんらん}氾濫原、(5)にわかれる。

このほかの平野としては、海水準変動や相対的な地盤の隆起によって海底が陸化した^a海岸平野がある。この平野は一般的に単調な海岸線となる。

(6)が最も発達するのは氾濫原で、そこでは河川は蛇行し、河道の一部が本流と切り離されると(7)が形成される。水はけの悪い(6)も、日本では水田に利用され、農業生産の中心をなしている。(6)や旧(7)で、湿性植物の遺体は完全には土壌とならずに(8)として残される。

問1 文中の(1)～(8)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

〔語 群〕

- (ア) 火口湖 (イ) 段丘 (ウ) 侵食 (エ) 扇状地 (オ) 湧水
(カ) 河跡湖(三日月湖) (キ) 三角州 (ク) 安定陸塊 (ケ) 砂堆
(コ) 泥炭 (サ) 自然堤防 (シ) 沖積 (ス) 後背湿地 (セ) 変動帯
(ソ) 構造

問2 文中の下線部 a に関して、代表的な地形の事例として不適当なもの一つを選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 宮崎平野 (イ) 九十九里平野
(ウ) アメリカ合衆国大西洋岸平野・メキシコ湾岸平野 (エ) メコンデルタ

問3 文中の(4)の地形の一般的な特色のうち、誤っているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 等高線が同心円状となっている。
- (イ) 中央部が水の不足する地域となる。
- (ウ) 構成物質の多くは粘土とシルトである。
- (エ) 山に近い部分では土石流の災害の危険がある。

2010 2/6

〔I〕 世界の平野(平原)に関する次の(A)～(J)の各文に施した下線部②～④は三つとも正しいか、一つに誤りがある。三つとも正しい場合には①の記号をマークしなさい。また、一つに誤りがある場合には、その記号をマークしなさい。なお、次ページの図は世界の平野のおよその分布を示している。一連の平野であっても、国境をまたぐ場合は国境線を示す。

- (A) 世界の平野のうち広大な平野は、オーストラリア大陸、アフリカ大陸、南アメリカ大陸などに見られる。
② ③ ④
- (B) 北アメリカ大陸では、東は古期造山帯のカスケード山脈、西は新期造山帯のロッキー山脈の間に分布している。この平野の一部はプレーリーにあたる。
② ③ ④
- (C) ヨーロッパ大陸では、東を限る古期造山帯のウラル山脈と、黒海とカスピ海の間で南を限る新期造山帯のカフカス山脈などに区切られる。この大平野の主要部は東ヨーロッパ平原と称されるが、ほぼロシア卓状地にあたる。
② ③ ④
- (D) 南アメリカ大陸では、新期造山帯であるアンデス山脈に西を限られる大きな平野が二カ所見られる。一つはアマゾン川の流域に対応する東西方向のものと、パラグアイ川・パラナ川などの流域に対応する南北方向のものである。両平野をほぼ区分する高まりは、ギアナ楯状地である。
② ③ ④
- (E) オーストラリア大陸では、東を限る古期造山帯のグレートディヴァイディング山脈と、先カンブリア紀に激しい地殻変動などを受けたオーストラリア楯状地の間の中部・南部については、大鑛井盆地と称される平野が広がる。
② ③ ④
- (F) ウラル山脈の東側には、西シベリア低地が見られる。この更に東側にはほぼオビ川を境にして、中央シベリア高原を含むシベリア卓状地が位置している。
② 西シベリア低地からさらに南および南西には、トゥラン低地などが分布し、アルプス・ヒマラヤ造山帯の山々がこの平野を限っている。
③ ④
- (G) 図の縮尺からすると比較的小規模の帯状の平野が見られる。アラビア半島北縁には世界最高峰を持つ新期造山帯と並行してヒンドスタン平原がみられるが、これは旧アラビア亜大陸と旧ユーラシア大陸の衝突によって形成されたものである。
② ③ ④
- (H) カリブ海の東を限る大アンティル諸島から断続的ながら続く山地とギアナ高
② ③

地にはさまれた帯状の平野の東半分ではこの大陸有数のオリノコ川が流れる。
この河川は大アンティル諸島を構成するトリニダード島の南方に広大な三角州
を形成している。

- (I) 中国大陸をみると、この図では渤海と黄海に面した領域、つまり華北平原と
トンペイ(東北)平原が黒く塗られている。これらの地域を含めて世界有数の大
河である黄河や長江も、その基底のほとんどは安定陸塊で構成されている。
- (J) ジャワ島とカリマンタン島のカリマタ海峡側には、帯状の平野が分布してい
る。両島は異なる新期造山帯の活発な地殻変動の影響下にあり、両島の間、さ
らにはタイランド湾などにつづく大陸棚に堆積物を供給しており、2万年前な
どの氷期にはより広い平野が広がっていた。



1984年北アメリカ大陸自然誌

〔IV〕 北アメリカ大陸に関する次の文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を解答欄に記入しなさい。

ラブラドル高原から(1)湾を囲むように、五大湖の北部を経て北極海諸島に連なるなだらかな台地状の大地形は(2)^{たて}楕状地と呼ばれる。この楕状地は先カンブリア代の造山運動によって生じ、古生代以後は緩慢な造陸運動だけを受けた、いわゆる(3)陸塊の一つである。

大西洋岸寄りに、なだらかな地形をもって横たわる(4)山脈は(5)代の^{しゅう}褶曲山脈が準平原化したあと再び隆起したものである。北部にはいくつかの横谷があり、交通路として利用されてきたが、中でも(6)谷は、1825年にエリー運河が開さくされたことにより、内陸部の開発に重要な役割を果たした。

(4)山脈の東部から南部にかけては、海岸平野が連なる。メキシコ湾岸一帯の平野とその沖合の大陸棚は石油と(7)を豊富に埋蔵する。

ロッキー山脈以西の地域では急峻^{しゅうん}で、長大な幾条かの山脈がほぼ南北方向に平行して走り、その間には多数の高原や盆地がみられる。サンフランシスコの東方、サクラメント、サンホアキンの両川が貫流する長大な(8)もその一つで、ここでは恵まれた気候を利用しての果樹、野菜、米、綿などの栽培が盛んである。

これら四つの地域に囲まれた大陸中央部には広大な平原が連なっている。ロッキー山脈に沿う、やや乾燥した(9)と呼ばれる高位平原では、牧畜業が発達しており、その東側のやや湿潤な草原、プレーリーでは(10)ととうもろこしの栽培が盛んである。なお、(10)についていえば、ほぼ北緯40度を境にして、その南北で栽培時期が異なる。

(以上)

2009 オーストラリア・ニュージーランド地形

〔I〕 次ページの図を参照しながら、次の文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

オーストラリア大陸東縁には長さ2,000 km以上に及ぶ大(1)山脈(図中A)が横たわる。これはバス海峡を隔てて(2)島(図中B)に続く。オーストラリア大陸は他の大陸に比べて平均高度が低く、この山脈より西のほとんどは(3)地などの安定陸塊となっている。とはいえ、(3)地には、図中aのキンバリー高原や図中b付近のマクドネル山脈など、先カンブリア時代の地層からなる高地が分布している。乾燥気候のために全面的に岩石が露出するエアーズロック(ウルル)はこういった山塊の一つで、世界遺産に登録されている。

広大な大(4)盆地(図中C)は沈降が続き、ここには厚く地層が堆積してきた。そして、比較的降水の多い大(1)山脈などから長い間、この地下水の水を含みやすい砂岩層に水が供給されてきた。

大(1)山脈の主要形成期である古生代や、大(4)盆地の砂岩層主要部が堆積した中生代ジュラ紀より後に、オーストラリア大陸は隣接する南極大陸から分裂した。両大陸はかつて(5)大陸を構成していた。

オーストラリア大陸東方、図中cのタスマン海を介して位置するニュージーランド北島および南島は、オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界に位置する。(6)諸島(図中D)とケルマデック諸島の東側には深い(7)(図中E)が見られる。この延長線が北島の東側を走り、やがてこれは南島に上陸して図に示したfのアルパイン断層となっている。

北島には北海道の洞爺湖などと同様、タウポ湖に代表される(8)湖などの火山地形が分布する。これは太平洋プレートの沈み込みによるものである。

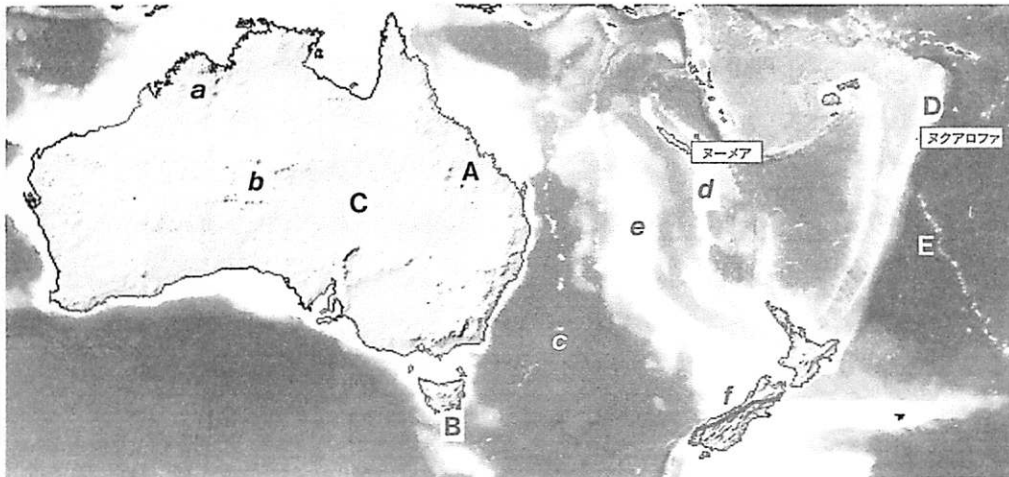
ニュージーランド南北両島はジーランディアと呼ばれる大陸プレートの上に載っている。多くは太平洋プレートの下に沈み込んだが、今も両島やここから延びる図中cの海台や図中dやeの海嶺に残っている。

南島上ではオーストラリアプレートと太平洋プレート上に載ったこの大陸プレートが衝突しており、最高峰3,754 mのアオラキ(クック)山をもつサザンアルプス山脈を形成している。ここには現在でもフランツジョセフ(9)など、

山岳(9)が分布している。およそ2万年前には現海面下まで(9)が達していた。現海面下の部分は現在は沈水して、ミルフォードサウンドなどの(10)になっている。なお、サウンドは入り江を意味している。

〔語 群〕

- | | | |
|----------|-----------|-----------------|
| (ア) 断層 | (イ) 扇状 | (ウ) オーストラリアアルプス |
| (エ) 河跡 | (オ) 鑽井 | (カ) マーレーダーリング |
| (キ) 海溝 | (ク) 氷河 | (ケ) ニューイングランド |
| (コ) 氷床 | (ク) 分水嶺 | (シ) ニューカレドニア |
| (ス) 楯状 | (セ) トンガ | (ソ) リアス式海岸 |
| (タ) 中央海嶺 | (チ) 舟状海盆 | (ツ) スチュアート |
| (テ) フィジー | (ト) ローラシア | (ナ) フィヨルド |
| (ニ) カルデラ | (ヌ) ゴンドワナ | (ネ) タスマニア |



2009 大西海北部プレートテクトニクス
〔I〕 次の文を読んで、以下の問に答えなさい。

太平洋プレートの西縁とナスカプレートの東縁には、海洋プレートの沈み込む^①場である(1)がみられる。そして(1)にほぼ平行して、太平洋プレートの西側縁^②には弧状列島が、ナスカプレートの東縁には世界最大規模の(2)山脈であるアンデス山脈が分布している。

大西洋の東西沿岸付近で海岸線にほぼ平行する弧状列島または山脈を探すと、北大西洋沿岸に限定されていることがわかる。北アメリカ大陸側で(3)山脈、ヨーロッパ大陸側で(4)山脈などを想定できるのである。(3)山脈、(4)山脈についてはいずれもその走向は大西洋(5)にほぼ平行する北東-南西方向を示している。

プレート境界で形成されうる陸上の大山脈は、二種類のプレートの相互作用の結果^③と考えられている。ところが、(3)山脈と(4)山脈に対応しうる(1)はみられず、海洋側には大陸塊も欠如しているのである。

この問題の解答をJ.T.ウィルソンが示している。次ページの図を参照してほしい。図には古生物群集の違いをパターンで表している。この古生物群集の分布から、当時の北アメリカ大陸とヨーロッパ大陸の境界が決定され(図中の破線)、その境界部に古大西洋が想定された。

図に示された時代の後に、両大陸は衝突して(3)・(4)両山脈などが形成される。この活動はカレドニア造山運動^④と呼ばれている。その後、(5)から溶岩が噴出し、現在の^⑤大西洋が形成されるのである。

問(A) (1)～(5)に入れるのに最も適当な語句を次の語群から選び、その記号をマークしなさい。

〔語群〕

- (ア) 断層 (イ) 海溝 (ウ) 海岸 (エ) アトラス
(オ) 褶曲^{しゅうきょく} (カ) 火成岩 (キ) 中央海嶺^{ちゅうおうかいりゅう} (ク) アパラチア
(ケ) スカンディナヴィア

問(B) 下線①に該当しないものは次のいずれか。その記号をマークしなさい。なお、(1)には本文中の(1)と同じ語句が入る。

- (ア) スンダ(1) (イ) マリアナ(1) (ウ) 日本(1)

問(C) 下線②に該当しないものは次のいずれか。その記号をマークしなさい。

- (ア) 琉球弧 (イ) 東北日本弧 (ウ) 伊豆・小笠原弧

問(D) 下線③について最も適当でないものは次のいずれか。その記号をマークしなさい。

- (ア) 衝突 (イ) 沈み込み (ウ) 発散

問(E) 下線④に言う山脈群に該当しないものは次のいずれか。その記号をマークしなさい。

- (ア) グランピアン山脈 (イ) ペニン山脈 (ウ) ピレネー山脈

問(F) 下線⑤で形成された造山帯は次のいずれに含まれるか。その記号をマークしなさい。

- (ア) 新期造山帯 (イ) 古期造山帯

